



## 令和6年度学校評価アンケート結果

…結果は結果…。この数字を客観的にとらえて令和7年度に生かす…

No.	質問項目	生徒				保護者			
		全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年
①	授業には興味・関心を持って取り組める	3.2	3.1	3.1	3.3				
②	授業には調べ学習や話し合い活動が設定され学び合えている	3.4	3.4	3.5	3.3				
③	授業や様々な場面で丁寧に教わることができている	3.4	3.3	3.4	3.4				
④	自分の学年や学級は居心地がよく集団として成長できる	3.4	3.4	3.2	3.5				
⑤	生徒会活動、学級活動等は主体的に活動できている	3.3	3.2	3.2	3.4	3.5	3.4	3.5	3.6
⑥	行事は仲間との絆を育て充実している	3.6	3.7	3.5	3.7				
⑦	道徳の授業や様々な場面で思いやりや命の大切さを学んでいる	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.4	3.4
⑧	いじめ根絶や互いのよさを認めることを学んでいる	3.6	3.5	3.7	3.7				
⑨	部活動は充実して、積極的に取り組んでいる	3.4	3.5	3.3	3.5	3.3	3.4	3.2	2.6
⑩	先生は生徒の相談に乗り話をよく聞いてくれる	3.4	3.3	3.4	3.6	3.2	3.2	3.2	3.4
⑪	先生は生徒を尊重し、大人として模範になっている	3.3	3.4	3.3	3.4				
⑫	あなたは学校教育目標の生徒であるよう努力できている	3.4	3.3	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	3.4
⑬	あなたは基本的生活習慣やあいさつ等が身に付いている	3.2	3.2	3.1	3.3	2.9	3.0	2.9	2.9
⑭	あなたは計画的に家庭学習に取り組んでいる	2.7	2.9	2.5	2.7	2.6	2.4	2.7	3.2
⑮	あなたはスマホやSNSの使用について規則を守っている	3.5	3.6	3.3	3.5	2.6	2.7	2.6	2.6
⑯	学校は施設設備や学習環境が整っている	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5
⑰	学校に行くのが楽しい	3.2	3.3	2.9	3.4	3.4	3.5	3.1	3.5
⑱	西中は生徒が誇りをもち自慢できる学校である	3.4	3.4	3.3	3.5				
保2	学校は「各便り」等で学校情報を発信している					3.4	3.3	3.4	3.5
保5	学校は保健・安全指導等の充実に努めている					3.4	3.4	3.4	3.4
保6	教員は学力を伸ばすためにきめ細やかな指導を進めている					3.0	2.8	3.0	3.1
保7	教員は一人一人のよさを認め指導を進めている					3.3	3.2	3.2	3.4
保10	教員の接遇、言葉遣い、マナー、服装等は適切である					3.5	3.3	3.6	3.6

### 令和6年度 学校評価アンケート に思う…

▲5段階評価 昨年度比 +/橙 -/黒

教員には自己評価システムというものがある。自身の指導や学校、学年、学級経営等の取組について目標を立てて自己評価をする。年間を通じて PDCA サイクルを機能させ指導を進める核となるものでもあり、その自己評価の裏付けとなるもののひとつが、この生徒・保護者学校評価アンケートである。教員自己評価のエビデンスとして数量化、可視化が言われている中で、抽象的、主観的になりがちな学校評価において、とても貴重な数字として活用されるデータである。統計学的見地からのクロス集計等詳細な分析はできていない。もちろん単純統計なので誤差の範囲も広くすべてに優位性を持たせるわけにもいかない。捉える側の主観により評価の感じ方も違う。しかしアンケートによる数字という事実は大きく、経年変化を比較したり、その要因等について確認できる資料としては生徒・保護者の直接的意見として意味がある。これらのデータを参考に、全教員がチームに分かれ次年度の西中の教育について模索する。

さて、本校では知・徳・体を徳・知・体と読み替え、3つのバランスを保ちつつも「徳=豊かな人間性」の成長から、ボトムアップによる「知識・技能」や「思考・判断・表現」「学びに向かう力、人間性」の向上を目指している。

そのような学校経営のひとつの方向性から重要視している回答は、何と云っても「⑰学校に行くのが楽しい(子供は楽しく学校に通っている)」「⑱西中は生徒が誇りをもち自慢できる学校である」の2つである。共に目指す値は「3.5以上」であるが、「生徒」においては「楽 3.2」「誇 3.4」という値である。目標値には届かなかったものの上昇傾向にある。特に3年生の値は目標値に近く、同じ質問紙の県学調では「学校が楽しい」は市内トップである。令和6年度、西中の「顔」として大活躍してくれた青ジャの「踏み出す力」が何事にも真剣に、全力で取り組む前向きさを生み出したのだと思う。今年度の学校全体の取組が、すべてにおいてポジティブに機能することができたのは、青ジャの「学校が楽しい」という思いの強さに他ならない。学力への具体的なつながりについては、3/6の入学許可候補者の発表で確かめたい。さて令和7年度、更なる西中の飛躍に赤ジャの「顔」としての奮起に期待する。生徒のデータからは「学校が楽しい(好き)」を反映した結果が読み取れる。前年比で値が上回ったのは6項目(②⑤⑦⑯⑱)(/18項目中)、下回ったものは「⑨部活」の1項目のみである(動き方改革が直撃している…)。「豊かな人間性」の成長は、学校全体の肯定的雰囲気醸成し、西中の新たな伝統をつくりだすきっかけを与えてくれた。生徒たちはとにかくポジティブに頑張った。あとは更なる縦割りの強化と全校のつながりが課題となるのか…。

同様の見方をすれば、保護者の方々については前年度の値を下回ったものが8項目(/15項目中)、上回ったものは0であった。残念ではあるが保護者の方が実際に感じている学校への思いなのは間違いない。保護者の皆様に理解してもらうためには…それは子供の成長が一番の特効薬である。更に子供が成長し、その一つ一つの伸長が一人一人の保護者の方々に実感できるよう改善を図る。保護者の皆様の学校理解を深化させるための有効な手立てがありましたら、ぜひともご意見をお聞かせください。…ちなみに、昨年度の記述部分に目立った、学校だより『みずほの丘の希望』に対するご意見は今年度1件でした。もちろん今後とも研鑽を重ねつつ、学校理解への情報発信に努めて参ります。いただいた課題の喫緊性を考え、生徒の幸せとなるよう学校を進めて参ります。ありがとうございました。

### 早くも…弥生3月 西中早春物語



- 桜の蕾…卒業式には間に合うよう毎日温めています。
- 地植のクロッカス、青い花が咲きました。
- チューリップ、徐々に大きくなっています。卒業式には…
- 閑沢小の水仙です。

# 令和7年度4月行事予定

日	曜	活動内容等	
1	火	令和7年度スタート 着任	春季休業日
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	準備登校(新2・3年)	部×
8	火	入学式・始業式	部×
9	水	短③ 2・3年発育測定	
10	木	短③	部×
11	金	給食開始 1年発育測定 ⑤新入生歓迎会⑥部活動オリ 仮入部開始 防パト	
12	土		
13	日		
14	月	学年授業⑤	
15	火	第1期時間割開始 全国学調(理・質) 清掃開始	
16	水	生徒手帳用写真撮影 専門委員会	部×
17	木	3年全国学調(国・数)	
18	金	全校二者面談	
19	土		
20	日	富士見市子どもフェスティバル	
21	月		
22	火	全校二者面談	
23	水	中央委員会	部×
24	木	全校二者面談 本入部	
25	金	全校保護者会(②③授業公開⑤⑥学年保護者会 学級懇談会 部活動保護者会)防パト	
26	土		
27	日		
28	月	全校二者面談	
29	火	昭和の日	
30	水	3年県学調 ⑤体育祭結団式	部×

- 入学式前後、新年度準備等の関係で日程変更等があるかもしれません。近々のものをご確認ください。
- 11日(金)に体育祭色団決定大抽選大会「覚悟はできたか!?西中生よ!!赤ジャがこけたらみんながこける…(仮題)」を開催します。色団の縦割り関係は、体育祭のみならず、日常生活(給食、清掃、合唱練習、学習等)でもつながる関係です。言ってみれば西中での兄弟クラスとなります。みんなで盛り上がりましょう!
- 20日(日)「富士見市子どもフェスティバル」のボランティアを、生徒会を中心に募集しています。

## 西中学校区青少年健全育成推進協議会 2月19日 30名以上参加で開催 講演は…元千葉県警捜査一課刑事+SAT所属 阿部 佑介 さん/子供たちの安全を守る

平成4年に発会した西中学校区青少年健全育成推進協議会。30年以上にわたり西中学区の子供たちの安全を見守ってきた。発会の理由は当時全国的に広がっていた荒れの改善を地域でも担っていくという支援の広がりからだ。若かった私も本会のメンバーであり、近隣のゲームセンターやパチンコ店、夜間の公園等を毎週のように見回っていた。当時を思うと…今の生徒たちは本当に素直だし、真面目だと思う。しかしながら、SNSやいじめ事案等、今の先生が楽だとはまったく思わない。時代にはその時代なりの課題があるのは当然のことだ。今回は元千葉県警の阿部さんをお招きして、闇バイトや傷害事件等についての対処法を地域の方々と共に学んだ。少々



衝撃的な内容であったが、今の時代には危機を認識する能力が必要だと痛感した。現場の方の話は、リアリティに富み現実を想起させる学びになる。

# 2025 受験シーズン一段落… 西中生は、最後の1秒まで全力を出し切れたのか?

2/25…県公立学校前日、校長室前のおみくじを数名の生徒が引いていた。引いた生徒が「校長先生、このおみくじ明日の試験に持っていくな。」とひと言…。そのおみくじには、3年職員から受検生に向けた熱い「お告げ」が記されていた。こんな小さなギミックが生徒の心を少しでも和らげてくれたのなら…。

令和7年度県公立入学者選抜の受検者数は39,463人で(西中/84人)倍率は1.10倍であった。前年度の最終倍率が1.11倍であったので、ほんの少しはあるが緩和傾向である。しかしながら公立という特性上、少子化が続く限り再編を重ね、2038年までには県公立高校を15~19校削減すると県教委は発表している。不合格となる生徒(全県で3378人)がいるという事実は変わらない…。

受験前日…受検生と話をした。■「もう今から緊張してる」。■「何で受験なんてあるの…」。■「今日は早く寝よう」。■「校長先生、マジでほんとに落ちたらヤバイ…。様々な思いを語っていた。中には■「明日でこのプレッシャーが終わりだと思うと…」とニコニコしている生徒もいる。涼しい顔をしていても、すべての受検生がそれなりのプレッシャーを感じていた。この合格が少なからず今後の人生に多少の影響(良し悪しではないが…)を与えるのは事実だからだ。

そんな受験…合格以上に大切なのは、やっぱり今までの過程だと思う。たかが受験、されど受験でもある。15年という人生の中で自分で人生を決められる初めての場だ。こんなにも胸がワクワクする選択場面は今までの人生ではなかったではないか!そんな場であると理解しつつ、自分なりに納得のいく努力ができなかった生徒がいたとしたら…。それは今後の人生においての大事な場面でも努力ができないことになるのかもしれない。あえて言うが、たかが高校受験という場において本気になれなかったとしたら…あなたは多分一生本気になれないのかもしれない。もしこの高校受験というものに全力で挑めなかったのなら…。残り80年以上の人生を考えれば、そっちの方がよっぽど深刻だ…。

3/6 ウェブ上での発表だ。堂々と胸を張り、顔を上げて結果を直視しろ。そして家族に仲間感謝し、少し未来の自分を想起してほしい。…人生で初めて自身の進路選択に挑んだあなた…今ここに居るだけで、このプロセスを経験しただけで、あなたには価値があり、大きな成長を遂げたのだと思う。それは最高の評価に値するのだろう…。2025 受験、お疲れ様でした…。



- おみくじに込められた、青ジャの神たち?からの「お告げ」
- 努力は実る!!一球入魂!!エースをねえ!! ○○先生
- 人生で1番幸運な日!!自分の実力が100%発揮され、明日は最高の日になる!!絶対大丈夫!心から応援しています!がんばれ!! ○○先生
- Blue Impulse!! 今までがんばってきた自分を信じて!!大丈夫!!みんなには応援している人がたくさんいるよ!!自信を持っていこう!! ○○先生
- ここまで本当によく頑張ってきた。その自分に自信を持って合格する強い意志を!絶対大丈夫!意志あるところに道は拓ける ○○先生
- ここまでよく2月さま!!! (自)分を(信)じて!!顔晴れ★ ○○先生
- 『集中力と忍耐』  
みんななら大丈夫。最大限の力を発揮できるでしょう。 ○○先生
- 泰然自若/落ち着いて動じず 冷静沈着/慌てず焦らず 明鏡止水/雑念は捨てよ いつも通り過ごせば「絶対合格」 ○○先生
- 親に志望校を言ったら笑ってた…。合格した日は泣いていた…。  
君が負けるはずがない!!! 堀川校長

■生徒会から3年生へのエール  
「最後の1秒まで 全力を出し切れ 青学年ファイト!」

校門前道路工事完了記念…「登下校の歩行には十分注意しよう」勝手にキャンペーン  
正門前の道路工事も完了し、凹凸もなくなりグリーンベルトもきれいになり、横断歩道も新しくなった。これを記念(?)し登下校について再確認して歩行には注意してほしい。



- グリーンベルトの内側を通る
- 正門から道路に出る時は一時停止
- 止まってくれた車に頭を下げる(お礼)
- 横断歩道をわたる(道路を横切り×)  
部活動での下校時…毎日、先生方に大声を出させるのか?誘導灯で交通整理をさせるのか?もうやめさせてほしい。クラクションを鳴らされる。車に急ブレーキを踏ませる。横に広がり他を考えない歩行…。西中生のマナーは決してよくはない。